

Info 季節の花や、花と緑に関わるボランティアさんをご紹介します

花と公園とボランティア 四季おりおり
水と緑あふれる市民の憩いの場 中島公園



中島公園は、地下鉄南北線中島公園駅から幌平橋駅にまたがる大きな公園です。公園内には、コンサートホールや神社、文学館などが点在しています。桜、藤、バラ、イチヨウ並木や日本庭園の紅葉など春から秋にかけて季節ごとの見どころも多くあります。風が心地良い菖蒲池のほとりは、夏の散策にぴったりです。

中島公園のボランティア団体

中島公園では、さっぽろ花と緑のネットワーク登録団体「カルガモみどりの会」、「中島公園フローレスの会」のみなさんが活動しています。

「カルガモみどりの会」は、花と緑のネットワークの事業「さっぽろまちづくり体験実習」から2019年に発足しました。中島児童会館前の建物の周りの花壇を、いつも花が咲いて来館者が楽しい気持ちになるように植栽管理をしています。



「カルガモみどりの会」の花壇

「中島公園フローレスの会」は2011年に結成した花の会です。「花いっぱい公園にしよう」をモットーに「香りの広場」のバラ花壇や宿根草ボー「中島公園フローレスの会」のバラ花壇、地下鉄幌平橋駅付近の花壇などで花づくりを楽しんでいます。

ブログ <https://nakajimakoenhana.exblog.jp/>
(中島公園花だより)

また登録団体ではありませんが、さっぽろタウンガーデナーが在籍する「モンタナ松の会」は、宿根草とハーブ、山野草の花壇の維持管理をしています。



「モンタナ松の会」活動の様子

中島公園の樹木

中島公園には、珍しい樹木や、歴史ある樹木がたくさんあります。公園では樹木を楽しめるコースも紹介していますので、お散歩してみたいかたがでしょうか。



中島公園樹木マップ 珍しいシダレウツクスユウヤナギ
https://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/?page_id=1340

Information

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2021年7月31日現在

さっぽろタウンガーデナー (311名)							
中央区	54名	北区	41名	東区	39名	白石区	24名
厚別区	21名	豊平区	35名	清田区	13名	南区	23名
西区	25名	手稲区	26名	その他	10名		
花と緑のボランティア団体 (全34団体)							
仲間が増えました！							
新規TG 10名							
再登録 1名							

編集後記

- 晴天がこんなに悩ましい夏ははじめてです。草花や野菜の水やりに奔走しておりました。暑さのせいかミニトマトが美味しくできました。(武田(可))
- 水やりの大切さが身に染みたシーズンでした。雨が待ち遠しいです。(齋藤)

タネの交換会をしませんか？

みなさんからご要望の多い「タネ苗交換会」。コロナの発生状況が収まれば冬期にタネのみの交換会を開催する予定です。参加希望の方は、シーズン中にご準備ください。

発行・編集
さっぽろ花と緑のネットワーク事務局
札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階
(公財)札幌市公園緑化協会内

WEB: <https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>
TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577
E-mail: flowers@sapporo-park.or.jp

主催 札幌市建設局みどりの推進部



花と緑のネットワーク通信

水不足と連続する真夏日で植物の維持管理が大変なシーズンですね。もう少しの辛抱！無理のないよう、体を十分に休ませながらガーデニングを楽しみましょう。今回は、研修見学会、技術者講師派遣の報告とボランティア活動体験を行っている団体、中島公園で活動している団体をご紹介します。

Report 「はなふる」ガーデンエリアの研修見学会に行きました



第39回全国都市緑化北海道フェアのメイン会場、花の拠点「はなふる」と恵庭市民の関わりを内倉真裕美さんにご案内いただきました。午前、午後10名ずつが参加し、異なったコンセプトによる7つのガーデンを見学しました。



丘の上から道の駅方向の眺め
親子連れでにぎわう噴水広場を中心に7つのガーデンがあります

Q「はなふる」で見つけた！



コンテナの名札は恵庭市民が参加する緑化フェアサポーターズクラブ広報部会の手作り



ルッコラの花はゴマの味、オイスターリーフは生ガキの味？楽しい試食タイム



来場者を迎える「虹色の鳥」花と花の間は誰でも美しい花のように映る写真スポット



ハニーサックルを絡めたオブジェは、漁川で行われていたヤツメウナギ漁の仕掛けを模したもの

さっぽろ花と緑のネットワークイベント予告



10月3日(日)

さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム 2021

1部 講演：上野砂由紀氏

2部 ディスカッション

申込：札幌市 コールセンター (8/26 ~ 9/12)

会場：JR タワー プラニスホール

旭川市「上野ファーム」のオーナーガーデナーである上野砂由紀氏に「そらのガーデン」(JRタワー)や「グラベルガーデン」(恵庭市「はなふる」)などの作品事例を交えながら、「～北海道の新たな魅力～新しい時代の庭づくり」について講演していただきます。ディスカッションでは、第39回全国都市緑化北海道フェアの関係者を交え、花と緑のまちづくりについて意見交換します。

当日、会場の様子をYouTubeで後日配信します。詳細はネットワークのホームページでご確認ください。

10月13日(水)

生活を彩る寄せ植えづくり

抽選

秋から春にかけて楽しめる寄せ植えを学びませんか。講義とコンテナの寄せ植え実習を予定しています。講師：齋藤 聡子(花と緑のネットワーク事務局) 場所：農試公園 サンプルーム

抽選

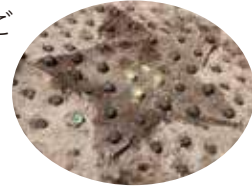


タネだんごサポーターが 幌南幼稚園のタネだんごづくりを手伝いました



2018年のサポーター養成講座を修了した「タネだんごサポーター」が月寒公園のボランティアと一緒に幌南幼稚園年長組74名のタネだんご作りのお手伝いをしました。受講から3年ぶりの出番でしたが、月寒公園のボランティアさんと交流しながらの楽しい活動でした。タネだんごは星やハートのようにわかりやすい形の花壇を作るのに適しています。みなさんの活動場所でもいかがでしょうか？

月寒公園に作った星型花壇



西区 ラポール 24 軒花愛会 カリンズ酒を作りました

タウナガーデナー金内さんが代表を務める「ラポール 24 軒花愛会」は、マンションのすべての住人が会員で、敷地内花壇の植栽管理をしています。7月7日、花壇の果樹カリンズ(フサスグリ)の収穫を行いました。果実はすぐに焼酎に漬け込まれ、赤い実の色そのままの美しいカリ



収穫したスグリの実

ズ酒に加工して、マンションの活動の際にふるまわれるのだそうです。マンションでは、花愛会の活動のほかパークゴルフなど自治会活動が活発に行われています。日頃からの交流が伺われる、気の置けない会話の飛び交うにぎやかな活動風景でした。



技術指導講師派遣制度を利用しませんか？
登録団体やタウナガーデナーの活動先に出張しますよ！

中央区 東北連合町内会 技術指導派遣を行いました

花植え前の準備から植え方、水やりや施肥など植樹ますの植物のお手入れの方法について講義を行いました。昨年に続いて2回目の講習会。講師も参加者もリラックスした雰囲気の中、次々と質問があり、日頃の疑問が解消された様子でした。雨不足が深刻な今シーズンですが、昨シーズンよりもっと上手に管理されていて驚きました。



市役所本庁舎前コンテナガーデンづくり STV テレビで紹介されました

市役所本庁舎前に16名で5つのコンテナを管理しています。6月5日の花植えでは、STV テレビ「札幌ふるさと再発見」の取材が入り、札幌タウナガーデナーの紹介と花植えの様子が放送されました。ネットワークのホームページ7月1日の投稿からご覧いただけます。今の時期は、ダリア、ジニア、ランタナ、ペチュニアの生育が旺盛です。今シーズンも後半にかかってきましたが、補植の必要なく、どの花壇も生育良好です。市役所に立ち寄った際は帰りにぜひ見学ください。



気軽にボランティア活動体験のご紹介

花と緑の EGG

札幌国際大学イネーブルガーデンでの活動は、ガーデンに学生のデザインを採用したり学生実習の場として、またガーデンコンサート、ガーデンの植物を使ったクラフト作りも行い、地域の方にも園芸療法に触れる機会を提供しています。学生の夏休み期間を利用してガーデン活動のボランティア体験参加を広く募集しています。



大学のガーデンってどんなところ？
ガーデンボランティアってどんな感じ？
そんな疑問や不安にお答えします。
一度活動を体験してみませんか？

体験日：隔週水曜日
9月1日、9月15日
時 間：10時～12時
場 所：札幌国際大学イネーブルガーデン
札幌市清田区清田4条1丁目4-1
申 込：さっぽろ花と緑のネットワーク事務局



2019年7月に開催されたガーデンコンサートの様子



いずれも自家用車での利用可。会の担当者から折り返しご連絡します。

永山記念公園花壇づくり 花植え指導の講習会とタネだんごづくりを行いました

今シーズンから新しく3名が加わりスタートしました。講師のコテージガーデン三石氏に指導を受けた後、それぞれで配置を考えて植え、出来栄に満足した様子でした。遊具前の花壇にはタネだんごでコスモス、パンジー、アリッサムの花の種を植えました。小さな種から芽が出て生長してゆく過程をたくさんの来園者と一緒に楽しんでいけたらと思います。



ハーブの小径を愛する会

穴の川流域「ハーブの小径」で、ハーブや樹木の植栽管理と敷地内草刈りが主な活動です。オタマジャクシを観察する「おタマの池」、手作り水車、ビオトープなど自然に親しむ楽しいアイデアがいっぱい。小学校との連携もあり、地域の環境学習の場にもなっています。流域の草刈りが行き届いているためにクマが出没しなかったのではないかと話題になったことも。平成30年度北海道社会貢献賞受賞が今後の会の活動を見直すきっかけになりました。会員外の方が「ちょこっとの時間」関わる形「ボランティアm(ミックス)」の日を月に1回設け、ハーブの小径利用者にに向けて、活動の普及と参加を呼び掛けています。



コミュニ庭園のハーブ植栽



おタマの池で遊ぶ子供たち

第3日曜日はボランティアmの日

体験日：毎月第3日曜日
9月19日、10月17日
時 間：10:00から1時間程度
場 所：ハーブの小径
札幌市南区石山3条7丁目付近
申 込：さっぽろ花と緑のネットワーク事務局



ハーブの小径 HP